

## 非ワトソン・クリック型核酸に関する九州地区セミナー2

主催： 日本核酸化学会九州支部会  
共催： 日本核酸化学会  
開催場所： 九州工業大学  
開催期日： 平成30年3月2日(金)  
参加費： 無料

開催目的：日本の核酸化学研究は、数多くの素晴らしい研究成果を生み出しており、常に世界をリードしてきた。日本核酸化学会第1回年会（ISNAC）は核酸化学分野を束ねる意義深いシンポジウムであり、日本の核酸化学研究の発展、および研究成果を世界に発信する場としてその意義は極めて大きい。しかし、核酸化学の裾野は広く、近年ますますその傾向は顕著になっている。有機合成化学、物理化学、生化学、細胞工学、ナノテクなど多様な視点から盛んに研究が行われており、ISNAC等の既に確立された学会の限られた発表時間の中では、研究の本質を十分に伝えること、さらに（特に学生や若手研究者にとっては）理解し討論することが困難になる場合も少なくない。九州地区ではユニークな核酸化学研究を展開している幾つかの研究グループがあるが、交通網の発達が不十分なこともあり、ISNACや日本化学会などの全国大会以上の規模の学会以外で互いの研究に関して学ぶ機会がない。そこで、九州地区の指導的立場の教員やグループリーダーとして活躍されている教員に加え、大学院生を中心とした学生の参加を募って、講演・質疑応答時間を十分に確保した勉強会の開催を企画した。従来学会では話すことができない研究のポイントやビジョンを比較的自由に語り合うことを企図している。もちろん、演者自身も聴衆となって、じっくり講演を聴き互いの研究の更なる展開・深化に向けて議論する機会を提供する。研究範囲を絞って濃密な討論を行いたいので、最初の試みとなる今回のセミナーでは、テーマを非標準型核酸とする。G4、3本鎖、Z型DNAなど、多くの非標準型の核酸構造があるが、その重要性に関しては論を俟たない。特に非標準構造核酸の生物学的意義に関する研究は世界的にみてもまだ緒に就いたばかりの非常にホットな話題である。講演者は九州地区の大学に所属するグループに講演を依頼し、さらに招待講演者として東京都医学総合研究所の正井久雄先生にご講演をお願いする。

開催概要：研究集会の構成本勉強会においては核酸化学の中でも非ワトソン・クリック型核酸に関する研究を遂行している研究室から6件の口頭発表が行われる予定である。

講演予定者（順不同）： 招待講演：正井久雄（東京都医学総合研究所）一般講演：谷口陽祐（九州大学）、勝田陽介（熊本大学）、石塚匠（宮崎大学）、福田将虎（福岡大学）、佐藤しのぶ（九州工業大学）

組織委員谷口陽祐（九州大学・実行委員長）佐藤しのぶ（九州工業大学）勝田陽介（熊本大学・事務局）石塚匠（宮崎大学）、北村裕介（熊本大学）

実行委員長：谷口陽祐（九州大学・准教授）  
福岡市東区馬出3-1-1 システム創薬リサーチセンター  
092-642-6540

問合先・事務局：勝田陽介（熊本大学・助教）  
熊本市中央区黒髪2-39-1 工学部物質生命化学科  
096-342-3872  
katsuda2243@kumamoto-u.ac.jp